

平成 24 年度 一日保育士体験事業報告

保護者の感想

・母親

- ・普段見られない園での様子を見られて貴重な体験ができました。
- ・大勢の子ども達と遊ぶのは初めてだったので、不安でしたが、子ども達が可愛い過ぎてすぐに楽しくなりました。いつもは忘れていた子どもの純粋さ、優しさを改めて感じました。
- ・子どもとすぐに喧嘩になってしまいますが、先生達は、子どもとじっくり関わって言い聞かせていて、すごいなと思いました。私も子どもとそんな風に接したいと思いました。
- ・たくさん子どもたちとのふれ合いが楽しかったです。
- ・子どもの頑張りが判りました。
- ・年長さんは落ち着いて生活できているなあと思いました。自分達で工夫したり、考えたりする力もついているのだなあと思いました。
- ・去年は年長の兄、今年は年少の妹ということで、年少と年長の違いを感じる事ができました。毎年参加することに意味があるなあと感じました。
- ・全員と少しずつ関わられてよかったです。
- ・トラブルがあった時にいけないことを伝えようと思いましたが、信頼関係ができている先生と一日保育士とでは伝え方が難しいと思いました。
- ・家では休みは、だらだらと過ごしてしまうので、一緒に遊んであげたいと思いました。
- ・昨年と比べて成長した姿が見られました。
- ・絵本を真剣に聞いてくれてうれしかったです。
- ・不審者侵入訓練でしたが、みんな放送を静かに聞いていてびっくりしました。(2歳児)
- ・子ども達との生活は楽しかったです。脳がリフレッシュされました。
- ・笑顔で接すると笑顔で返してくれる。一言返してあげると素敵で笑顔で返してくれる。幸せでした。
- ・細かいところまで気づかいをしてくださっていて安心しました。子どもの好奇心は無限なのだなあと感じました。いろいろな個性を持つ子どもたちを毎日見てくださる先生方に感謝です。(0, 1歳児)
- ・来年もまた参加できることを楽しみにしています。
- ・自分たちで考え、自分達でルールを作って遊んでいて集団生活のよいところが見えました。(年長)
- ・一日保育士体験は実は嫌で参加しましたが、ストレスが解消でき楽しかったです。
- ・初めて参加しましたが思っていたより楽しくてよかったです。
- ・大きい子が小さい子の面倒をみる姿とても素晴らしいと思いました。是非続けてください。年長さんがよく面倒を見てくれて感謝です。
- ・思っていたより大変でした。全員の子供が給食を食べていて驚きました。
- ・保育士はあこがれの職業だったので体験できてうれしかったです。
- ・先生の寝付かせ方が参考になりました。
- ・叱り方が参考になりました。
- ・つかず離れず、見守ることが参考になりました。
- ・うちの子だけできないと思っていましたが、一人一人できることと、できないことがあることがわかり安心しました。
- ・昨年に比べ成長した姿が見られました。

- ・声掛で全員参加を目指してほしいと思いました。
- ・子ども達が一日精一杯生活していたので、家ではゆったりと受け止めてあげようと思いました。
- ・毎年ではなく、在園中一回やればよいと思います。
- ・父親が参加しやすい環境を市全体でつくっていく必要があると思います。
- ・楽しそうに遊んでいる姿に安心しました。子ども達に対しての保育士の愛情を感じました。
- ・保育士が生き生きと子ども達に接していて、育児の参考になる事が多くありました。
- ・家では食べない野菜を美味しく食べていて、びっくりしました。集団で友達と食べることは魔法みたいなものだと思います。
- ・参観日とは違う日常の子ども達の姿を見ることができて良かったです。
- ・根気強く待つことや、手を出さず見守ることをしていきたいと思いました。
- ・先生方の姿を見て、子どもをもう少し信じて自分でさせることも大切だと感じました。
- ・クラスの子どもが家の子と同じことをしている姿を見て、みんな同じなのだなあと安心しました。おおらかに接したいと思いました。
- ・絵本を聞く姿勢がよく、長い本も聞けていました。家でも読み聞かせをしなければならぬと思いました。読むことで好きな本が少しずつ増えていく。それを、繰り返していくことが大切だと思います。
- ・注意する時は何がいけないのかを伝え、次の行動になかなか移れないときは一つだけ手伝って、やる気にさせる声かけを心掛けしようと思いました。
- ・自分で考え行動する様子を見ることができて、うれしかったです。
- ・規則正しい時間で生活させることが必要だと思います。土日など少し考えようと思いました。
- ・話を聞くときは聞く。食べる時は食べるなど、活動一つ一つに区切りがあり、自分が今何をしなければならぬのかということが明確であることが、自発性につながるのだと思いました。気持ちの切り替えができる声かけをしていこうと思いました。
- ・子どもとかかわる時は、少しの時間でもかかわる時間は大切に関わっていかなくてはいけないと思いました。また、気長に子どものやることを待ってあげていて、習慣にしてしまうと、次にやることを考えられるようになる。やる気のスイッチをうまく入れてあげれば、自分でできることが多くなる。親が面倒くさがらずにやらせてあげなければならないと思いました。
- ・後ろにも目があるのではないかと思う先生を見て、みんな一人一人ペースがあって、一人一人いい所がある、それを見つけてあげられたらいいと思いました。
- ・外国人なので心配しましたが、子どもが懐いてくれてとてもうれしく感じました。
- ・毎日の保育に感謝です。子ども一人一人の表情をみると明るく、自信を持って行動していました。
- ・心が和みました。小さなことでイライラせず、見守りながらやっていく大切さを感じました。
- ・子ども達が「先生」と呼んでくれてうれしかったです。
- ・先生達の大変さがわかりました。
- ・子どもへの接し方を教えていただきました。
- ・子どもが親にべったりになってしまったが、子どもとゆっくり向き合うことができて良かったです。
- ・おもちゃの取り合いが全くなかったことに驚きました。年長になって「譲り合う心」が育っていたのが感動しました。
- ・他の子どもの遊びに入る時に「入れて」「いいよ」が言えていて、見ていて気持ち良かったです。
- ・年長になると全てにおいて「大きくなったな」と感じ、安心感も出てくるなと思いました。

- ・食事の様子を見て当番をきちんとやっていて、小学校への準備をしてくださっていることに感謝です。
- ・子どもと一緒に運動遊びをして、身体を動かす遊びをやってみようと思いました。
- ・叱るときに怒鳴ってしまいましたが、いけないところを自分で考えられるような叱り方がいいと思いました。
- ・できないことばかりに目がいって、ガミガミ怒ってばかりでしたが、できることをほめて伸ばす保育を家庭でも参加していきたいです。
- ・子ども達への先生の接し方を見て、安心して毎日預けられると感じました。
- ・家ではできないこと、畑づくり、やきいも会、お餅つきなど貴重な体験をさせてもらうことにすごく感謝です。
- ・他の保護者と話す機会が少ないと感じました。
- ・集団生活の中で、人を思いやる心を持ち合わせている姿が見られてとてもびっくりしました。大切なことを経験できてうれしいです。
- ・褒めること、良いこと悪いことはきちんと説明してから叱るなど、子どもにわかるように話すことの大切さを知り、参考になりました。
- ・急かしたり慌てさせたりしながら、強い口調になってしまうことが多いが、焦らずに見守り言葉をかけなくてはいけないと思いました。
- ・家庭では楽しく生活すること、生活をだだらししないで節目をしっかり持つことが大事であることがわかりました。
- ・普段は、園にお世話になっている分、自分の子ども含めみんな本当に頑張っているのだなという実感ができました。みんなで協力すること、仲良くすること、自分でできるようになることをしっかり勉強しているのだなあと思いました。
- ・来年度、一日保育士体験で成長した姿を見られることを楽しみにしています。
- ・子どもの活動を見たことで、これからは「すごいね」と心から言ったり、一緒に喜んだりできそうです。
- ・みんなで決めたことを守ろうとしていて、感心しました。家でも役目を決めて取り組ませてみようと思います。
- ・「早く」と急かしてしまうが、ゆっくりでもできることがわかり、子どものペースでやらせてあげたいと思いました。
- ・読み聞かせを朝、午睡前、寝転んでからもしてください、子ども達がお話に触れる機会が多いのも幸せだと思います。寝かしつけで、優しく子守唄を唄ってください、心が温まり子ども達がやさしい気持ちで眠りにつける、幸せだと感謝の気持ちです。子ども達がかわいくてたまらなくなりました。
- ・向き合うこと、話し合うことなどが大切だと感じているのに、普段はできていないと感じました。
- ・子どもの目線になって一緒に楽しみ子どもへの愛情が一層深まったような気がします。
- ・子どもをたくさん受け止め、頑張ったら思いっきりほめたいです。
- ・みんなが元気いっぱい、笑っているのを見るとこっちも元気がでました。
- ・先生方が他のクラスの子どもの名前まで覚えていてびっくりしました。
- ・子どもの ON、OFF をきちんと理解してあげて、今何を訴えているのか見てあげたいです。
- ・家では手のかかる我が子だと思っていましたが、周りに気を使ったり、一生懸命食事で遅れないようにしたりしている姿は、見直す部分がありました。集団で行動し、順番やルールを守ること、我慢することはこれからの社会に出ていく上で、本当に大切なことであり、その基本を今、身に付けているのだと改めて感じました。

- ・延長保育までであるといいと思いました。
- ・まだまだ母親が恋しい時期なのに、食事、おやつも一人で食べられる子、ポーチなどの片付けなどを自分でやる姿に驚きました。(乳児)
- ・絵本の時間は、とても大切な時間だと思いました。
- ・子ども達がのびのび遊んでいる姿が印象的でした。
- ・散歩では道路の歩き方、横断の仕方がきちんとできていて感心しました。
- ・子ども同士で声を掛け合ったり、教え合ったりしてすごいと思いました。
- ・学校交流に参加できて良かったです。(年長)
- ・切り替えがしっかりしていたと感じました。
- ・大勢の中で良い所を真似し、教え合い、トラブルがあっても注意され気付く、集団生活のよい所だと思いました。
- ・子どもからの「ありがとう」の言葉が、なによりうれしかったです。
- ・保育士というより、保育園の子どもになった気分でした。
- ・子ども達が集まってきてくれてうれしい反面、自分の子が焼きもち焼いてしまいました。
- ・子どもが求めていること、手を握る、話を聞く、抱っこするなど大切にしていきたいと思いました。
- ・小さなことでも、できたらほめてあげたいと感じました。
- ・自分の子がいつも一緒に遊んでいる子や、その様子を見て新たな一面を知ることができて良かったです。
- ・いつも「楽しく遊んでおいで——」とだけ思っていたが、集団生活を送ることはきっと大変な面もあるのだろうということがわかり、そんな子どもの気持ちを考えながら送り出したいと思いました。
- ・いつも怒るときに感情が抑えられず、それでますます子どもも聞いてくれないのだとわかりました。ポイントを絞って、しっかり伝えられるようにしたいと思いました。
- ・保育の中で育っている姿が見られてよかったです。
- ・一日のスケジュールがわかり、休日の食事や昼寝の時刻など参考になりました。
- ・ハサミを使った制作の時に、年長、年中、年少とそれぞれに合わせたやり方で作っていて、声かけの仕方など勉強になりました。
- ・思った以上に楽しく過ごしているようで、安心しました。子ども達一人一人が頑張り、友達を手伝ったり協力したり、できたことを認め合ったりしている姿がすごいと思いました。
- ・0・1歳児の外遊びは目が離せなく、気の抜けない一日でした。本当に感謝しています。(乳児)
- ・絵本の読み聞かせにとっても静かに耳を傾けてくれて、不安(緊張)がゆるみました。泥遊び、雪遊びは気が進みませんでしたが、子ども達と遊んでいるうちに夢中になってしまいました。
- ・挨拶、マナーなどしつけの部分は、家庭でしっかり教えないといけないと思いました。

・父親

- ・昨年は何をしたいのか戸惑いもありましたが、今年は遊ばばいいとわかっていたので、気持ちが楽でした。
- ・子ども達とどう関わればいいのか不安でしたが、楽しく遊ぶことができました。
- ・たくさんの子どもの個性を見ることができ、自分の子どもの教育について考えるよい機会になりました。

子どもの個性を生かせるように広い心を持って生活していきたいです。

- ・女の子しかいないので男の子とうまく遊べるか不安でしたが、遊び出すと子どもの頃を思い出しました。
- ・とても勉強になりました。
- ・いろいろな子どもがいるので、のびのび育ってあげたいと思いました。
- ・子ども達は十人十色で、今までと違った世界が見えました。
- ・みんな元気ですごいパワーです。そのパワーをもらって自分も元気になります。
- ・子どもと触れ合う時間をこれからはたくさん持ちたいと思います。
- ・今後も参加していきたいです。
- ・この体験はみんながやるべきです。
- ・昨年も体験した父親が来て下さると前日伝えてあったので、こどもたちは「～ちゃんのお父さんが来る」と朝から楽しみにしていてテラスで待っていました。昨年たくさん遊んでいただいたことを覚えていたようでした。
- ・夏、子ども達が川作りをしていたが、園庭が硬くてなかなか深く掘れませんでした。昨年も夏に川作りをしていただいた父親に「今年も庭の穴掘り一緒にしていただけますか」と聞くと、体験に来て下さり「穴掘りは大丈夫です。任せてください」と子ども達と一緒にどろんこになって穴を掘っていただきました。
- ・昨年は父親しか体験に来られなかったので「今年は私が先に行く」と決めていた母親。母親の都合で体験日が伸びてしまったので、父親が「なかなか来られなくて残念」と言っていました。結局母親の都合で父親が先に来ました。後で体験した母親は「大変だったけど、楽しかった。父ちゃんが早くやりたいといった理由が分かった」と言っていました。
- ・保育園で楽しく遊んでいる子どもの姿を見て、自分も嬉しく思いました。
- ・自分の子以外の子ども達とどのように接してよいか不安でしたが、子ども達の方から寄ってきてくれて不安は解消されました。
- ・一日保育士体験制度は、良い制度です。茅野市を発信源として県内、全国に広げていければ良いと思います。
- ・何でも親がやるのではなく、自分のできる事は自分でやり、しっかり見ていきたいと思いました。
- ・あくびをしている子が目立ちました。運動会もそうでした。自分の子どももそうですが夜早く寝かせなければならぬと感じました。
- ・生活の中でいろいろなことが起きているので、保育士さんは広い視野と臨機応変さが求められる職業だと思いました。
- ・子どもの成長とともに、親も考え方や接し方を変えていかななくてはと感じました。
- ・頭ごなしに怒らない、子どもの話をよく聞く、受け入れる、言葉を返す、ほめるなど、できるようでできないのが現状です。
- ・いろいろな子どもさんの個性をみることができ、とても良い経験でした。改めて、子どもの言葉をしっかりと聞いてあげてほしいと思います。
- ・子どもとふれあえるととても大切な日でした。園での一日の流れや子どものできる事、手伝いの必要なことなど、新たな発見ができた一日でした。
- ・母親任せの育児に積極的に関わってほしいと思いました。
- ・子どもの目線に合わせて遊ぶことが難しく感じました。仕事の基本は無駄をなくすことですが、子どもは今無駄が必要なのだと思いました。(今後のための無駄?)

- ・言葉づかいなどの対応の仕方が学べてよかったです。これからはあまり手や口を出さずに自主的に何でもできるように少し大人が我慢しなくてはいけないと思いました。
- ・いろいろなタイプの子どもがいるなかで、どの子にも目を配り一人一人の性質に合わせて対応していく先生は大変だと感じるとともに、子ども達は先生を頼って過ごしているのだと思いました。思った以上に、子ども達は先生の言う通りに聞いていたことに感心しました。
- ・避難訓練の振り返りをみて、何らかの事柄について子どもに「振り返り」をさせることも必要だと感じました。
- ・自分の子どものわがままさに気づきました。
- ・子ども達の素直で何でも全力でやっている姿が印象的でした。
- ・子どもと遊ぶ感覚で参加し、十分に遊ぶことができました。子ども達の多様な反応に対応する先生方に頭が下がりました。
- ・手作り道具を使って身体を動かして遊んでいて、良いと思いました。おもちゃがなくても十分楽しそうに工夫して遊んでいるのが見られました。
- ・保育園では、全て箸で最後までしっかり食べていました。家では遅くなると面倒なので親が与えていますが、家での食べさせ方を見直すきっかけになりました。
- ・自分の子どもが他の友達に焼きもちを焼くのではないかと思っていたら、そんなこともなく驚きました。年少でも先生の話の聞いたり、制作がスムーズにできていたりして驚きました。
- ・もっとたくさん絵本を家でも読んであげようと思いました。
- ・子どもをゆっくり見守ることや待つことができるようになりたいと思いました。
- ・わくわく楽しかったです。子どもと二人で過ごしているので、ストレスがたまり鬼のようになっていました。子どもとふれ合う中で、話したりしていたらとてもリフレッシュできました。すっきりしました。
- ・少人数だから大きい子は小さい子の面倒をよくみるし、小さい子はよく真似をして遊びを楽しんでいるし子どもが一体化していて、生き生きとしていて関係がとても良かった。
- ・おもしろかったです。一人一人がのびのびとしていて、ちゃんと目的を持って遊んでいたのにはびっくりしました。
- ・先生は、悪いことは悪いとちゃんと教えてくれていました。家では、ゆるく捉えていい加減になるが言い聞かせるなどわかるまで伝えてくれ、中途半端で泣かすことがないと感じました。
- ・自分で考えられるように本質に気づかせてくれ、身につけてくれてありがたいと感じました。
- ・いろいろな個性を持った子ども達を見ることができ、良かったです。
- ・保育園での生活がどのようになっているのか気になっていましたが、体験でよくわかりました。
- ・食事は、それぞれペースが違ったり、アレルギーがあったりして先生は大変だと感じました。
- ・根気よく接していかないといけないのだと感じました。
- ・自分の事は自分でしている姿を見ると、家でもあまり親が手を出さないようにしようと感じました。
- ・先生の対応を見て子どもに対して優しく接すれば、気持ちが伝わるということがわかりました。
- ・母親はよく絵本を読んであげていますが、父親の私も読んであげた方がよいと思いました。
- ・先生方のご苦労は頭ではわかっていましたが、これほどまでにハードだとは思いませんでした。
- ・子どもにペースがあることがわかった気がします。親がそのペースに合わせてみていくことが大切だと感じました。もう少し、自由にしてあげようと思いました。
- ・いろいろな場所に散歩に出かけてみようと思います。

- ・騒いでいる園児達も先生が誘導して、自分から動くようにしているのには感心しました。自由にのびのび生活している子ども達は輝いて見えました。
- ・仕事ばかりでなく、遊ぶなど、子育てには子どもとのコミュニケーションが大切とわかりました。
- ・仕事が忙しくて、普段なかなか子どもとかかわれないので、たくさん一緒にいる時間がもて、親も子も嬉しかったです。
- ・何回も来た父から「子どもも成長していてびっくりしましたが、先生も成長したね」と言われました。(保育士)
- ・地域でも知らない場所があり、休みの日にでも行ってみたいと感じました。
- ・学校へ向けての準備、心構えなどを学んでいる場面は、印象的でした。(注意され自分達はどうすればよいか考えるなど)
- ・子ども達に自分で気づかせ、行動に移せるような場面が参考になりました。
- ・一度も実際に発表会を見たことがなく、発表会の練習の時に参加することができて、感激しました。
- ・子ども達の話をよく聞く、その話を膨らませてあげるところなど、先生達を尊敬しました。
- ・挨拶を大切にしていたので、家でもやっていきたいと思いました。
- ・そこにいっただけで人気者、ヒーローになれてうれしかったです。
- ・とても楽しい一日だった。また来たいし、周りの人にも一日保育士体験を進めたいと思いました。
- ・「べったりと甘えてくる子がいる。家で甘えさせてもらってないのだろうか」と思った。
- ・団体行動に慣れていない年少は、大変でした。
- ・ちゃんと話せば子どもも理解して納得してくれることを知ることができました。
- ・家庭内で、すごく過保護だったと反省しました。
- ・一日のデイリー、流れを知ることができて良かったです。保育士体験に参加したことで、親近感がわき、保育園にも来やすくなりました。送迎時も子ども達が以前より声をかけてくれるようになり、可愛さが増したように感じます。
- ・異年齢児保育の中で、見た目ではわかりにくいことも、体験することで成長の違いがよくわかりました。
- ・自分の子以外の子と触れ合うことで、いろいろな個性が発見できました。良い所を伸ばすために周りの大人達が率先して、みんなで子育てに取り組むことが大切だと感じました。
- ・今まで自分の子どもとしか遊ぶ機会がありませんでしたが、周りの子も一緒に育てていけたらと思いました。
- ・子どものできることの範囲の広さに驚き、我慢強く見守ること、子どもに任せることの大切さがわかりました。
- ・自信を持たせること、家庭を居心地のよいものにする努力をしたいと思いました。
- ・先生方の仕事を見ることができて非常に良かったと感じました。心配り、状況に応じた素早い対応、個性を伸ばしつつ良くないところは冷静に的確、指摘し、考えさせるような言い聞かせなど参考になりました。